

製品名: GPR10 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11618**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	41kDa

抗原情報

遺伝子名	PRLHR
別名	PRLHR; GPR10; GR3; Prolactin-releasing peptide receptor; PrRP receptor; PrRPR; G-protein coupled receptor 10; hGR3
遺伝子 ID	2834.0
SwissProt ID	P49683
免疫原	抗血清はヒト PRLHR 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 184-233

背景

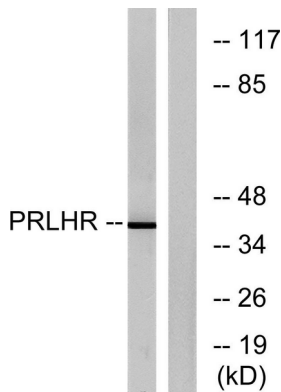
PRLHR は、プロラクチン放出ホルモン（PRLH; MIM 602663）の 7 回膜貫通型受容体であり、下垂体前葉で高発現しています

(Ozawa et al., 2002 [PubMed 11923475])。[OMIM 提供、2008年3月], 機能: プロラクチン放出ペプチド (PrRP) の受容体。授乳、摂食調節、疼痛シグナル処理に関与する。、誘導: ドパミン作動薬であるプロモクリプチンによって抑制される。、類似性: Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属する。、サブユニット: C末端領域を介して、PDZドメイン含有タンパク質 GRIP1、GRIP2、および PICK1 と相互作用する。GRIP1のPDZドメイン4および5、および PICK1のPDZドメインと相互作用します。、組織特異性:下垂体および下垂体腺腫のすべての細胞型でのみ検出されます。、

研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

画像データ



PRLHR抗体を用いたJurkat細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。